

# 歯つらつ

2015年10月  
235号

発行所  
齋藤歯科診療所  
由利本荘市美倉町 47-1  
TEL 0120-24-4182  
www.saitoshika.net

～診療時間～  
曜日：月曜～土曜  
時間：午前 9:00～1:00  
午後 2:00～6:00  
～休診日～  
日曜・祝日  
第2・4木曜日



## ある日のスタッフ

◆ ◆ ◆  
今月は、歯科技工士の川越由寿です。

◆ ◆ ◆  
私の趣味は釣りです。一口に釣りと言っても魚種によつて多種多様な釣りがあります。

◆ ◆ ◆  
私が主にターゲットとしているのは、スズキ（シーバス）とアオリイカの二種類です。どちらもルアーフィッシングです。



雄物川に遡上してくる鮎を追いかけて河口から上がってくる個体を河川に入水して狙っています。

雄物川のスズキ釣りは釣り雑誌で何度も取り上げられるほど全国的にも有名です。今では聖地とまでいわれているようです。

アオリイカ釣りは、初夏に生まれた新仔と呼ばれているイカの子どもが、秋にかけて手のひらサイズに成長する9月～10月末までを釣ります。

秋田県内の各漁港周りや男鹿一帯の磯場で狙うことができます。今が旬で食べても美味しいです。

晴れた休日は釣りをしながら秋田県内の自然を満喫してリフレッシュするのが楽しくなっています。

◆ ◆ ◆  
飲み込むのを待つから次の一口をすくうのでは患者様を待たせてしまいます。

◆ ◆ ◆  
また、早く終わらせたいからと、食べ物をぐちゃぐちゃに混ぜてしまうことも、せっかくの食事なのに楽しみになりません。

◆ ◆ ◆  
何事もですが、自分だったらどう思うのか、その方の立場に立つて考え、楽しく食事をしてもらうことの大切さを再確認しました。

◆ ◆ ◆  
実習の多いセミナーでとても勉強になりました。これからも積極的に参加して知識を深めていきたいです。

◆ ◆ ◆  
10月は右記の通りに休診致します。11、12日は祝日で連休になります。患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

## 休診のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	10月			1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
休診				休診		
11	12	13	14	15	16	17
休診	休診					
18	19	20	21	22	23	24
休診				休診		
25	26	27	28	29	30	31
休診						

◆ ◆ ◆  
10月は右記の通りに休診致します。11、12日は祝日で連休になります。患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

— 小助川 —

# 歯つらつ

子どもの虫歯は、咬み合わせや顎の成長、そして後から生えてくる永久歯にも影響を与えることがあります。

大人と同じで早期発見・早期治療が大事ではありますが、虫歯にならないように予防することも大事です。

そこで今号では、乳歯の特徴や歯の生え始めから卒業時期の特徴と予防についてお話させて頂きます。

乳歯は、永久歯と同じで表面からエナメル質、象牙質、歯髄(神経)となっています。

永久歯に比べると一番硬いエナメル質が薄く、歯髄が大きいので、虫歯の進行が早い

## 子どもの虫歯 シリーズ1 乳幼児期

です。加えて、子どもは痛みを訴えにくいこともあり、日頃からのチェックが必須となります。



乳歯が生えてくる時期は個人差があります。

平均的には生後6ヶ月に下の前歯が生えてきます。その後、上の前歯や奥歯が生えてきて、生後2年半位で乳歯が生え揃うといわれています。

乳歯が生え始める6ヶ月頃には離乳食がスタートします。

ペースト状のものや舌で押しつぶせる固さのものにはなりますが、食後のケアも必要になります。



歯ぐきは傷つきやすいので、ガーゼや滅菌されたシートでやさしく拭きます。

前歯が成長してくる10ヶ月前後頃は、離乳食は少しずつ形あるものになっていきます。栄養の主体が母乳やミルクから離乳食へと変わっていきます。

し、寝たきりになってしまいう高齢者が増えています。

その影響で起きてしまう誤嚥性肺炎などを防止し、生涯にわたる口から美味しく食べてもらうことを目的としたセミナーでした。

初めは講演でした。今まで口から食えることのできなかつた方が急に食べられるということはないので、フードテストや水飲みテストといったスクリーンングを行い、段階を踏んで安全に食べられるよう確認すること

が必要とのことでした。

また、お口の中の清掃などを行う口腔ケアは、誤嚥性肺炎の防止や口の機能の回復だけでなく、爽快感を得て美味しく食べたいという患者様自身の意向向上にもつながることを学びました。

次に実習です。フードテストや水飲みテスト、食事の介助などを実際に行いました。



◆ ◆ ◆  
フードテストは勉強会などで何度も見聞きしているものでしたが、実際に行うのは初めてでした。テストの一連の動作の流れが頭に入っていなかったり、次に行う動作を覚えていないと動きが止まってしまいました。

◆ ◆ ◆  
簡単そうに見えてとても難しいものでしたが、患者さんが食べられるかどうかの判断には有効なテストであると感じました。

◆ ◆ ◆  
要介護者の食事の介助では、私達が普段食べているときと同じように、食べるペースが大切